

横浜訓盲学院だより

第4号 (平成17年7月号)

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181

事務部 TEL 045(641)2626 FAX045(641)2627

普通部 TEL, FAX 045(662)1710

理療科 TEL, FAX 045(662)1833

URL: <http://homepage3.nifty.com/kummou/>

Email: kummou-fu@nifty.com

Email: kummou-ri@nifty.com

平成17年6月20日発行

学院長 はなわ 埜 ただし 忠蔵

訓盲学院の教育と支援教育

はなわ ただし
学院長 埜 忠蔵

今年は桜が満開のときに新しいお友達を迎えることができました。今年度は支援教育という新たな教育へ保護者・関係者の皆さまのご協力を得ながら取り組んでいくことになりました。

訓盲学院の教育を今まで支えてきたものはキリスト教の教えによる「愛に精神」と校訓の「人となれ、人に奉仕せよ」という社会人としての自立に向けた教育でした。この教育方針に沿って数十年前にアメリカより導入した重複障害児教育のひとつの方法として取り組んだ無学年制、チームティーチング、グループ制による「一人一人の個性・能力を尊重し、一人一人のニーズに応じた個別、集団教育を適切に行う」という教育の基本理念は、今年度の支援教育の基本理念である「児童生徒等一人一人の教育的ニーズに応じて適切な指導・支援を行うものである」の考え方と相通じるもの

でありました。

このチームティーチングによって、児童生徒のいろいろな場面での行動を多くの先生方が観察し、それに対して適切な指導が行えるという利点は、まさに一人一人のニーズに適切に答える教育的支援であったと思います。こうして多くの事を児童生徒から学びながら重複障害児教育を蓄積し、現在の訓盲学院の教育が培われてきました。

今年度はこれまで培ってきた重複障害児教育と支援教育をかみ合わせ、新しい特色ある支援教育を作り上げていきたいと思えます。そのひとつの取り組みとして高等部後期教育の充実を図り、「成人期の自立」に向けた教育を展開していきたいと計画を立てています。

今年度もご支援下さる皆さま方のご期待に応えられるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願い致します

★6月の聖句★

「私があなたがたを愛したように
あなたがたも互いに愛し合いなさい」

(ヨハネによる福音書15章12節)

イエス様が私達人間を愛する愛は高く、広く、深いものだと言聖書の中に書いてあります。私たちの想像を超えた愛があるようです。私たちもお互いに愛し合う中でイエス様の愛の深さを体験していきましょう。

本校の児童生徒は、一人ひとり皆違った障害を抱えながら、日々学んでいます。その一人ひとりの障害の様子や、そのために生じるさまざまな状況に応えるため、本学院普通部では3つの部門を設け、きめの細かい指導を行っています。

弱視部

横浜訓盲学院は盲学校です。「盲」学校と言っても、全員全く目が見えないという訳ではありません。普通の人よりは見えにくいけれど、いくらか視覚を活用して、道を歩いたり、大きくした文字を読んだりする事が出来る人もいます。それを「弱視」と言います。

弱視教育部は、そういう児童・生徒を支援しています。どのくらい見えるのかを調べたり、どうやったら少しでも見やすくなるか（メガネなどの補助具の工夫や、教材の工夫など）を考えたりする手伝いをしています。また、地域の小学校や中学校に在籍している弱視の子どもたちの教育相談もしています。

盲ろう教育部

横浜訓盲学院には視覚（目）だけでなく聴覚（耳）にも障害をもっているお子さんが数人います。このような障害のことを「盲ろう」といい、ヘレン・ケラーが有名ですね。訓盲学院の盲ろう教育部では、そういったお子さんのコミュニケーションを育てたり学習や日常生活の面などでの成長を助けるための支援をする役割を担っています。

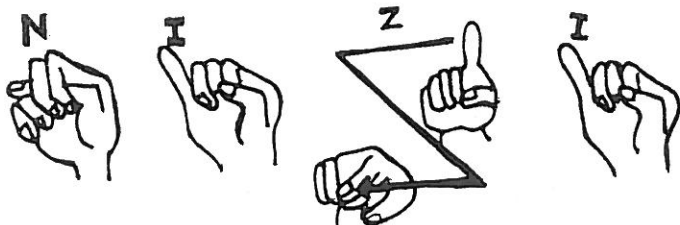
盲ろうの人たちのコミュニケーション手段にはいろいろなものがあり、一人ひとりにあった手だてを、生徒、担任、保護者などで一緒に考えています。ヘレンケラーが使っていた指文字と同じものを使っている生徒もいますよ！

教育相談部

「見えにくそうなんです」「遊びを広げたい」
「もっともっと子どもとわかりあいたい」

様々な障害をお持ちのお子さんとの暮らしの中で生じる思いを、日常生活を大切にしながら一緒に考えています。遊びや学習を通して、見ることの楽しさ、他者とのコミュニケーションのすばらしさ、喜びを子ども達と一緒に感じていきたいと思っています。子ども達の可能性を広げ、豊かに育てていきたい！そう願っています。

学院での相談や子ども達が最もリラックスできるご家庭での相談を行っています。大きなボールや太鼓、たくさんの玩具、教材を車に積んで出かけています。



運動会



爽やかな天候に恵まれ、5月28日（土）に17年度の大運動会が行われました。毎年、熱い勝負が繰り広げられる横浜訓盲学院の運動会!! 今年度も普通部の生徒、理療科の生徒による様々なドラマが繰り広げられました。普通部の子ども達による紅白分かれて行う応援合戦では、子ども達の元気な歌声や声援が響き渡ります。たくさんの声援を受け生徒一人ひとりが、それぞれの競技に大活躍でした。

「手をつなごう♪」の音楽で生徒、保護者の方々、来賓の方々がグラウンドの中央に輪になって集まります。「さあ！最後の種目、訓盲学院恒例!! 参加者全員によるマイム・マイムです。」お隣の人と手をつないで楽しく Let's ダンス!! みんな疲れも忘れ、汗だくになりながらも一体となって踊る姿はとても印象的でした。笑い声、笑顔がたくさんあふれる運動会となりました。ご協力頂いたみなさま、どうもありがとうございました。



ご寄付のお礼

4月～6月にかけて下記の方々よりご寄付をいただきました。ここに報告させていただきますとともに心よりお礼申し上げます。

- 国際福祉協会 (ILBS) 様
- フェリス女学院大学奨学会 様

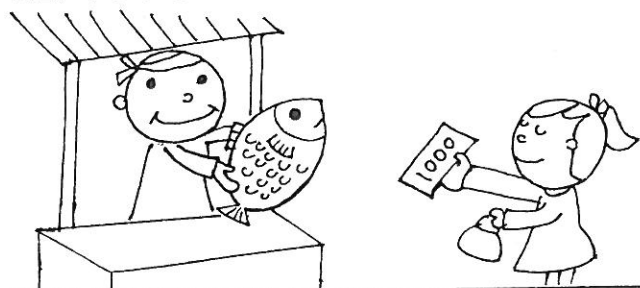
※この他、運動会にはたくさんのお祝いを頂きました。併せてお礼申し上げます。

視覚障害ミニ知識 「ご存じですか？お札の大きさ」

わたしたちはチラッと見ただけでお金を判断できますが、手で触っただけでわかるでしょうか？ 視覚障害者用の識別マークも工夫されていますが、実は視覚障害者にとって、お金を素早く判断することはとても難しいことなんです。

現在流通しているものは新旧含めて7種類です。短い辺は76mm とどれも同じなんです。長い辺が微妙に違うんです。旧紙幣では千円・五千元・一万元とそれぞれ5mmの差がありました。そこへ旧五千元札より1mm 短い二千元札が発行されました。昨年の新券発行では新一万円札と新千円札は旧紙幣と同じ大きさで、新五千元札は旧五千元札より1mm 長くしました。さあ、あなたは判断できますか？

| | |
|---------|-------|
| 新旧 壱万円札 | 160mm |
| 新 五千元札 | 156mm |
| 旧 五千元札 | 155mm |
| 二千元札 | 154mm |
| 新旧 千円札 | 150mm |



17年度 前期の主な行事予定

- 4月 8日(金) 入学式・前期始業式
- 4月～5月 各グループ春の遠足(普通部)
- 5月28日(土) 運動会
- 7月13日～15日 高等部(普)修学旅行
- 7月23日(土) 第1回学校開放日
- 7月22日～8月25日 夏休み
- 8月 第2回学校開放(予定)
- 9月 第3回学校開放(予定)
- 9月29日(木) 秋の全体遠足(普通部)
- 26日(月) 創立記念日
- 10月 7日(金) 前期終業式
- 13日(木) 後期始業式

臨床実習のご案内

当学院では授業の一環としてあんま・マッサージ・指圧、はり灸の臨床(治療)を行っております。是非ご利用下さい。

あんま・マッサージ・指圧
…………… 月・水・木
はり灸 …………… 火・金
料金： 一律 1000円
時間： 9:45～12:00

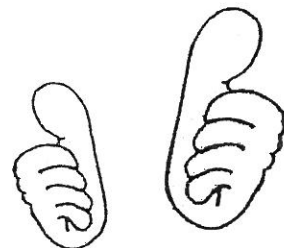
- ★ご予約はお電話で！
当日の朝 8:45～9:10 (先着順)
電話 090-9009-5882
- ★お問い合わせは理療科まで
電話 045-662-1833

7月23日の健康講座は 「肩こり&腰痛」

盲人卓球・ゴロ卓、
かき氷もあるよ！
場所／ 横浜訓盲学院
時間／ 10:00～12:00

理療科ミニコラム

思うツボ



理療科と言えばツボ、ツボと言えば指圧・鍼灸が
パツと頭に浮かびます。浮かばない人は浮かばせて下さい。

ところで、このツボって言うもの、古代の人はどうやって見つけたんでしょうね。
地下鉄の電車をどうやって改札口を通したかって事より眠れなくなる問題ですよええ。

大抵の人は、何かにぶつかったりすると、「アッ、痛い」ってぶつかった場所に手をやり
ます。子供が転んで痛がっていると、お母さんがぶつかって赤くなった処を手でさす
りながら、「痛い痛い飛んでいけ」って呪文を唱えたりします。あれって、不思議と
痛みが軽くなるんですね。肩が凝ったりすると自然と肩に手が行き、其処を押えます。
人にさわられると余計に気持ちが良いもんですね。これが「手当」の語源と言われてい
ます。

そんな場所を身体のあるところで見つけたのが、ツボの発見につながったんじゃない
かなって、これは私の勝手な想像。こんな勝手な想像でこれからコラムを担当しよう
と思っています。(宏)